

平成29年度 学校経営方針

平成29年4月3日 京都市立養正小学校

小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



学校教育目標

子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- 自ら考え、表現する力と主体的に学ぶ意欲の育成 【学 力】
- 互いの良さを認め、共に高め合う学習集団の育成 【人 権】
- 仲間との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成 【豊かな心】
- 望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 【健やかな体】



めざす子ども像

- すすんで考え、表現する子 【学 力】
- 自分や仲間の良さを認められる子 【人 権】
- きまりを守り、楽しく活動する子 【豊かな心】
- 運動に親しみ、健康な生活をする子 【健やかな体】

1 めざす子ども像の具体化

「すすんで考え、表現する子」

- *授業での約束や学び方を身に付け、意欲的に学習する子ども
- *基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- *自らすすんで考え、表現したり、自分の考えと比べながら聴いたりする子ども

「自分や仲間の良さを認められる子」

- *自分の良さに気づき、その良さをさらに伸ばしたり、役立てたりできる子ども
- *友だちの良さや頑張りを素直に認められる子ども
- *様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けた子ども

「きまりを守り、楽しく活動する子」

- *学級・学校・社会のきまりや約束を守るなどの規範意識を身に付けた子ども
- *仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- *身近な人たちに温かい心をもって接し、丁寧な言葉づかいができる子ども

「運動に親しみ、健康な生活をする子」

- *命の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- *食事・運動・学習・睡眠などの基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- *積極的に運動や外遊びに取り組み、健康でたくましい体を育む子ども

2 学校運営の基本方針 ～課題の克服に向けて～

- ①全教職員が、組織の一員として積極的に学校運営に参画するとともに、3部会からの提案を中心に会議や研修等で確認されたことを組織的かつ継続的に実践する。

【徹底】

- ②個々の教職員が、職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践や研修参加に努める。その過程で、自らの力量（指導力）や人権感覚の向上をめざす。

【研鑽】

- ③学力向上を最重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組のねらい（付きたい力）を明確にして教材研究や準備に励み、授業や取組の中で生徒指導を実践する。

【結果】

3 今年度の取組の重点

（0）「教職員の組織力」「教育環境」

- * 風通しが良く、明るい雰囲気のある職場環境＝組織力のさらなる向上
→子ども、授業、校務、悩み事等を話題に＝協力体制、相互刺激、つながり
- * 落ち着いた学習環境の整備
→ハード面：教室（総合・特別教室）、廊下、職員室、校庭、机上、……
ソフト面：丁寧な言葉づかい（子ども・教職員）、関わり、笑顔、……

（1）「学ぶ意欲」「基礎学力（知識・技能）」

- * 学習ルールの徹底（5月連休までに）
→指名の後の返事、聴き方・話し方、ハンドサイン、学習用具、……
- * 基本的な授業展開の定着＝板書でのカード（掲示）の活用
→導入・問題・めあて・ひとり学び（ノート作り）・話し合い・まとめ・振り返り
- * 総合育成支援教育・生徒指導（ユニバーサルデザイン）の視点をもった授業づくり
→「見通し」「視覚教材等による支援」「見やすい板書」「話し方」……
- * 複数指導の充実（算数科）、帯時間・ステップアップタイムの内容の共有
- * 家庭学習の提出の徹底と習慣化 → 宿題、自学ノート、漢字・算数検定等

（2）「思考力」「表現力」

- * 思考を働かせた「読む」「書く」「聴く」「話す」活動 → 「言語能力」の向上
- * 授業研究、中堅若手自主研修による授業改善の取組
→国語科（説明的文章）、算数科（課題の大きい内容）の授業研究
→同和問題にかかわる単元の指導、人権学習、健康教育 等
→授業技術の向上 ＝『子ども主体の授業にするための心得』
- * 読書環境の充実
→「手の届くところに本がある」環境づくり、読書週間の取組
→学校図書館の整備・活用 ＝ 図書館運営支援員・東山総合支援学校との連携
- * 『特別の教科 道徳』『外国語活動』の先行実施を見据えた実践

（3）「人権感覚」

- * すべての児童が安心して過ごせる学級経営 ＝ 自己肯定感・自己有用感
→学級でのルールや約束の徹底 ＝ 『子どもが生き生きと活躍する学級・学習集団づくりの視点』
- * 人権に関わる学習活動
→にこにこの日の充実と振り返り、えのき学級との交流、コリアみんぞく教室
→人権学習の内容・系統性を見直し、ハートフルタイム、インプロ学習

(4)「規範意識」

- * 児童会活動，ようせいタイム（縦割り活動）の充実
 - 月目標，各種キャンペーン，異学年交流
- * 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践
 - 「優しいけれど甘くない。厳しいけれど冷たくない。」「感情的な指導は子どもの心に届かない。」
 - 定例の生徒指導ミーティング，ケース会議，学年会
 - 「くらまね・いじめアンケート」「児童面談」の活用
 - 家庭訪問等による保護者との話し込み，連携

(5)「基本的な生活習慣」「運動能力・体力」

- * あいさつ・朝食・早寝・早起き・歯磨き（『あ・は・は』）・生活リズムの定着
 - 生活点検の実施と結果活用，子ども・家庭への継続的な働きかけ
- * 健康教育年間指導計画に基づく実践と内容の充実
 - 養護教諭・栄養教諭と学級担任との連携，実践の共有化
- * 体育科学習の授業改善（指導の共有），『ロング昼休み』の本格実施，外遊びの拡大

(6)「安心・安全」「危機管理」

- * 自他の命・安全を守る判断力を育てる安全指導（学級活動，避難訓練）
- * 「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応
 - 報連相の徹底およびマニュアル類・生徒指導ハンドブックの共通理解・活用
- * 校内の危険箇所の確認と整備 ex) 窓際，廊下，遊具，校舎周り 等

(7)「コンプライアンス」「職場環境の整備」「連携」等

- * 社会のルールへの遵守，教育公務員としての倫理観の向上
- * 時間と物の有効活用 = 仕事の優先順位と効率化，会議・研修内容の精選
 - 授業時間・会議等の開始時刻・退校時刻を守る，めりはりを付ける
 - 公費の適正執行 = 購入物品・教材等の活用，光熱水費・用紙類等の節約
- * 地域，関係諸機関との積極的な連携
 - 高野中学校区三校「小中一貫教育構想」に基づく実践，連携型OJTの継続
 - 校区保育所，児童館，東山総合支援学校サテライト施設，児童相談所 等
 - 学校運営協議会，PTA，おやじの会 等